

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）セツナンダイガク	フリガナ）ケイエイガクブ	フリガナ）ハタケヤマゼミ
摂南大学	経営学部	畠山ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）チームネヤガワ	フリガナ）イトユカ	5人	無
チーム寝屋川	伊藤由華		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
PowerPoint

研究テーマ（発表タイトル）
寝屋川市の商店街の復興

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

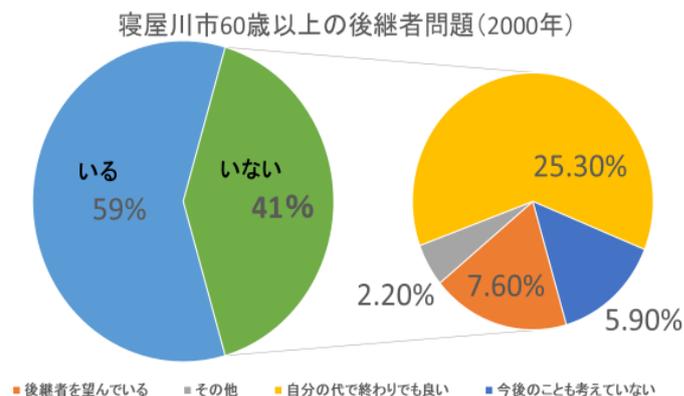
近年、日本では高齢化の進展が深刻であり、それに伴い一昔前は多くの人々でにぎわっていた商店街などの小売業の衰退が著しくなっている。そこに私たちは目をつけ、摂南大学のキャンパスがある寝屋川市に焦点を当て、寝屋川市の小売店に起こっている問題を分析し、活性化を図る狙いである。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在の寝屋川市の小売事業所数は、2002年と2014年を比較すると、1899か所から985か所に減少している。当時の65歳以上の人口は36,053人であったが現在では、63,717人に急激に増加している。さらに、生産年齢人口も減っていることもあり、小売事業所数の減少の一因が、高齢化ともいえる。



寝屋川市の後継者問題の解決策として、平成27年度から実施される「創業支援事業の推進」「創業支援セミナーの開催」「機器設備導入支援」など市が新たな取り組みをはじめている。



3. 研究テーマの課題

大阪商工会議所では、後継者がいない事業所にとって、重要な中小企業のM&Aの状況、譲渡を成功させるためのポイント、M&Aを活用した事業継承の事例などについて解説してくれるセミナーを事業引き継ぎ支援センターが行っている。

そこで我々はこのように後継者が不足している現状にも関わらず、後継者の引き継ぎ事例が少ないことに疑問を抱いた。その理由はこのシステムの知名度の無さ、システムの複雑さ、この事業を担う法人を設立することが課題であると考えられる。

【課題】

- ① 知名度を高めるための取り組み
- ② 簡易に登録できるシステムを構築
- ③ 法人化するために運営側の利益の確保

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちが考えた解決策として、起業希望者が小規模小売事業店舗を経営者からそのまま引き継ぐ「後継者ナビ」を提案する。
「後継者ナビ」とは起業希望者と後継者を探している経営者とを引き合わせ、事業引継の実現を支援する事業の呼称である。
 (以下、私たちが提案するこのようなビジネスモデルを「後継者ナビ」とする。)

継者ナビの流れとしては、まず起業希望者と後継者を探す小規模小売事業主とをインターネット・ハガキを介して登録してもらう。登録後、起業希望者は興味のある業界・産業の事業主を、事業主側は引き継いでほしい後継者をそれぞれサイト内にて検索する。高齢者向けに紙媒体の冊子も発行・配布をする。お互いの希望に即した相手がいれば直接会って現状、今後の展開について話し合う。その後最終決定となり、事業の引継が完了する。

このようなビジネスモデルは公益財団法人京都産業21の「後継者バンク」、中小企業基盤整備機構の「事業引継」など都道府県自治体で行われているが、知名度はそれほど無いと言える。

- ① 知名度
→SNSアカウントによる宣伝、大学との提携、チラシの配布、商工会議所などでの説明会
- ②簡易登録システム
→インターネット、コンビニ等に無料冊子を設置しハガキを同封する、資料請求
- ③ 後継者ナビの法人化
→成功報酬（引継後数年指導料）、事業主側の掲載料

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

寝屋川市の小売店のデータを大阪商工会議所から入手した資料を分析して、高齢化での小売店の衰退を明らかにした。後継者人材バンクの現状を改善するべく日本の中で行われた成功事例を調べ、共通項を取り入れた案を考えた

実際京都府内で、後継者ではなくプロデューサー役を募集していた企業があり、ハローワークで採用担当に相談し、マッチングを図ったがマッチングの専門機関ではないため、多くの時間を要した。そこで、マッチングをスムーズに行うため専門の法人団体を設立することで合理化を図った。

6. 結果や今後の取り組み

高齢化が進むのに比例して、寝屋川市の小売事業者数の減少が見られた。また、少子化により生産年齢人口が減少している。そのため、後継者問題が深刻なものとなってきている。以上、二つの問題を取り上げ寝屋川市の後継者問題に取り組んだ。課題解決策として、法人団体を設立する提案に至った。今後もさらに事業引き継ぎ支援の理解を深めていき、引き継ぎ希望者の声を汲み取ったシステムの構築を目指す。

7. 参考文献

<http://shoukei.smrj.go.jp/eb/jirei2015/html5.html#page=1> (2017年11月1日閲覧)

<http://www.kyo.or.jp/keisyo/successor/> (2017年11月1日閲覧)

<http://www.city.neyagawa.osaka.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/29/02.pdf>

(2017年11月1日閲覧)

<https://www.e-stat.go.jp/SG1/chiiki/ToukeiTableLayoutDispatchAction.do> (2017年11月1日閲覧)

<https://www.jigyo-keizoku.jp/wp-content/themes/mediainpact/images/jk/cases/company1.pdf> (2017年11月1日閲覧)

インタビュー (大阪商工会議所中小企業振興部承継・再生支援担当) (2017年10月30日)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑